

地域計画の策定に向けた取組み

農委会名：大津町農業委員会

1 地域の概要

大津町は、熊本市の東方約19km、阿蘇山との中間に位置しており、別府・阿蘇・雲仙などの国際観光ルートの路線上にある。

阿蘇外輪山西部に連なる広大な森林、原野地帯とそれより緩やかな傾斜をなして広がる北部畠地帯、阿蘇山を源として東西に貫流する白川の豊かな流れによって南部平野は肥沃な水田地帯を形成している。

国道325号線（久留米～阿蘇～延岡）と国道57号線（長崎～雲仙～大分）が縦・横断し、熊本空港、九州縦貫自動車熊本ICを近くに擁する交通条件に恵まれた田園産業都市になっており、人口は3万6千人を突破し、近年ますます増加傾向にある。

四季折々の自然の風景、人々の暮らしの風景、産業の発展、インフラの整備など、バランスよく調和し発展を続けている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 12人（うち認定6人、女性5人）
- (2) 推進委員数 17人（うち認定1人、女性0人）
- (3) 事務局体制 3人（すべて専任）

3 掲げた目標

令和6年度中の地域計画策定に向け大津町の9地区において地域座談会が開かれるため、農業委員と推進委員も各地域の座談会に参加する。

令和6年度中の地域計画策定を見据えて計画的に進めていく。

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

農業委員会として活動する中で得た知見をベースに座談会で発言をした。

より将来を具体的にイメージした目標地図を作成するために各地域に根差した意見や要望を提案した。



【座談会の様子】

5 取組みの成果

地域座談会への出席者が全体で107人であり、そのうち農業委員は13人、最適化推進委員は12人であった。

9地区の地域計画及び目標地図の素案の完成を達成できた。

6 課題と今後の方針等

本町においては、北側では工業団地と中九州横断道路、南部では空港アクセス鉄道の中間駅設置が計画されており、地域計画の見直しが生じる。

地域での話し合いを進め、適切な地域計画の更新につながるよう常に最新の状況を把握する必要がある。

また、地域農業を守るために個々の委員の課題解決能力向上に向けた勉強会を行う。